

2012年度後期文京区民向け合同講座(文京アカデミア)

東京外国語大学
東京外語会

講座名	「中国」を語る
期日	2012年10月4日(木)～11月8日(木) 全6回(毎週木曜日開講)
時間	18時30分～20時00分
会場	東京外国語大学本郷サテライト(文京区本郷2-14-10)3階教室
定員	30名
受講料	3,400円(6回)

回	日程	内容	講師名(ふりがな)
			肩書き
1	10/4	”汉语”とは？—中国の言語を多角的にとらえる—	三宅登之(みやけ たかゆき) 東京外国語大学教授
2	10/11	万里の長城を歩く	池上正治(いけがみ しょうじ) 作家
3	10/18	文学と街角の「文字」に見る中国のひと、社会	橋本雄一(はしもと ゆういち) 東京外国語大学准教授
4	10/25	中国人も知らない本当の中国	金丸健二(かなまる けんじ) 日本景德鎮(株)社長
5	11/1	習近平・新体制の中国共産党と今後の日中関係	金子秀敏(かねこ ひでとし) 毎日新聞専門編集委員
6	11/8	中国の商業と商人—明清時代の徽州商人を中心として	臼井佐知子(うすい さちこ) 東京外国語大学教授

- ・本講座は、本郷サテライトのある文京区民向けに東京外国語大学と東京外語会合同にて企画しました公開講座です。文京区に在住または在勤の方を対象にしておりますが、外語会会員については聴講が認められておりますので、申し込みの際にはその旨お申し出ください。
- ・会場の都合で定員が30名と限定されていることから、受講希望者が定員を越えた場合には抽選となりますこと予めご了承願います。
- ・申し込み等詳細は文京区ホームページないしは(公財)文京アカデミー学習推進係(03-5803-1119)にご照会ください。
- ・これまでの合同講座の履歴は次ページをご覧ください。

東外大・外語会合同公開講座一覧

2012. 5. 8

年度	対象地域	講師	テーマ
2005年度	東アジア	池端雪浦(東外大学長) 永井重信(元ブルネイ大使) 澤田ゆかり(東外大助教授) 内藤徹雄(共栄大学教授、元さくら総研研究員) 丹羽 泉(東外大教授) 石井米雄(人間文化機構長、前神田外語大学長)	日本と東アジア諸国との共生 激動のインドネシアと日本 変革する中国？ アジア通貨と共同体－人民元問題と東アジア経済統合の行方 韓国と日本を考える－「反日」と「嫌韓」を超えて アジアの相互理解は如何にして可能か？－日タイ交流600年の歴史を題材に
2006年前期	西南アジア・中央アジア	藤井 毅(東外大教授) 久保田 穰(元パキスタン大使) 粟屋 利江(東外大教授) 田中 浩一郎(中東研究センター主任) 広瀬 陽子(東外大講師) 田中 哲二(中央アジア・コーカサス研究専門)	近現代インドの歴史と日本との係わりあいについて パキスタンの現状と問題点 南アジア世界の女性たちをめぐって アフガンの民主国家建設の現実 コーカサス：石油ブームと民族紛争の中での国家建設 依然流動的な中央アジア・南コーカサス
2006年後期	中東	新井 政美(東外大教授) 八木 久美子(東外大教授) 久保田 穰(元シリア大使) 堀内 隆(朝日新聞社政治部) 山田 将博(元千代田化工建設) 八尾師 誠(東外大教授)	トルコ「世俗化」と「イスラム化」のはざまで－ エジプト、その重層性 シリアと中東和平 なぜ見通せない中東和平のゆくえ／現地からの報告 世界のエネルギー－中東の石油を中心に－ 世界の中心アフガニスタンから世界を考える、日本を考える
2007年前期	拡大EUとその周辺国	田中和子(国際通貨研究所客員研究員) 相馬保夫(東外大教授) 沢木忠男(前駐日スペイン大使館経済商務部常任顧問) 篠原 琢(東外大准教授) 山崎博康(共同通信論説副委員長) 米谷匡史(東外大准教授)	EUの展開と単一通貨ユーロ EUの中核ドイツ 過去・現在・未来 EUの中で成長を遂げる「イベリア」 過去の見直し？－社会主義後の東中欧諸国とヨーロッパ統合 東欧をめぐるEU・ロシアの確執 東アジアにおける地域主義の問題点
2007年後期	中南米	森 和重(国際社会貢献センターコーディネーター) 田島 陽一(東外大准教授) 鈴木 茂(東外大教授) 石橋 純(東外大准教授) 金子 正登(前JICAシニアボランティア) 柳原 孝敦(東外大准教授)	多様性に富む中南米と日本 メキシコの経済情勢 ～アメリカとの関係を中心に～ 多文化主義時代のブラジル社会 チャベス時代のベネズエラで何が起きているのか 南米のヨーロッパ・アルゼンチン アレホ・カルペンティエールとキューバ文化
2008年前期	アメリカ	柳沢 享(トヨタ自動車社友・もと理事北米部長) 金井 光太郎(東外大教授) 秋田 習孝(みずほ証券エクイティ調査部) 加藤 雄二(東外大講師) 会田 弘継(共同通信編集委員・前ワシントン支局長) 佐々木 孝弘(東外大教授)	日米自動車摩擦の背景－製品輸出から工場進出への軌跡－ ベンジャミン・フランクリンの実像とそのアメリカ的イメージの構築 米国社会：もう一つの二重構造、ウォールストリートとメインストリート 日本におけるウィリアム・フォークナーの受容について アメリカ大統領選をどう読むか－アメリカ政党史の観点から－ アメリカにおける黒人の表象－サンボ・イメージのもつ意味をめぐって－
2008年後期	中国	池上正治(作家) 澤田ゆかり(東外大教授) 曾根康雄(日本大学准教授) 川島郁夫(東外大教授) 諏訪一幸(静岡県立大学教授) 井尻秀憲(東外大教授)	中国ウォッチ42年 アジア地域の留学生問題 改革開放30周年を迎える中国経済 中国古典劇の系譜 オリンピック後の中国－国内政治と日中関係を中心に 李登輝の実践哲学
2009年前期	ロシア	小林和男(ジャーナリスト) 新井滋(ビジネスコンサルタント) 前田和泉(東外大准教授) 名越健郎(時事通信社外信部長) 亀山郁夫(東外大学長) 沼野恭子(東外大教授)	ロシアの謎を解く ロシアビジネス最前線 ロシアの詩情 ロシアの政治・経済 ドストイェフスキーとグローバリゼーション ロシアの文化と食
2009年後期	中東イスラム世界	鈴木恵美(早稲田大学准教授) ハナン・ラフィーク(東外大特任教授) 藤原和彦(中東ジャーナリスト) 林佳世子(東外大教授) 八尾師誠(東外大教授) 飯塚正人(東外大教授)	現代エジプトの社会と政治 エジプトの生活と祝祭 日本のイスラム(原理)主義報道の問題点 オスマン帝国の光と影 自分史としてのイラン・イスラム革命 百家争鳴の現代イスラーム思想
2010年前期	インド 亜大陸	渡邊光一(国士館大学・大学院・客員教授) 水野義文(東外大・大学院・教授) 清 好延(インド・アジア(有)取締役) 白井恵子(東外大非常勤講師) 井上正幸(前バングラデッシュ全権大使) 藤井 毅(東外大・大学院・教授)	インドが中国を追い越す日：インド政治・経済のダイナミズムを検証する 月に兎がいるわけ：インドの説話をめぐって 日本に流布するインド情報の虚実：在印23年の経験より 現代ヒンディ文学の世界：モーハン・ラーケシュの作品から バングラデッシュから見た世界と日本 地球に広がる南アジア世界：南アジア系移民をめぐって
2010年後期	東南アジア	宮田敏之(東外大准教授) 松本伸夫(前東海大学教授) 坂本英雄(パラマウントベッドインドネシア元会長) 宇戸清治(東外大教授) 東川 繁(アジア経済研究所ライブラリアン) 今井昭夫(東外大教授)	東南アジア経済について カンボジア現代史 内戦から国際平和構築そしてポルポト特別法廷 全33州制覇から見るインドネシア(チャリ・マカンのドサ回り記) 最新のタイ文学を味わう 複合民族国家マレーシアの人と社会 ベトナム戦争と戦後35年のベトナム
2011年前期	中東欧	千葉敏之(東外大准教授) 市川敏二(元丸紅㈱ブラハ駐在) 山下尚武(元在ブルガリア大使館参事官) 関口時正(東外大教授) ヒロ・ミハエル小倉(横東芝新照明システム部長附) 篠原 琢(東外大教授)	移動する宮廷－中世ドイツにおける王＝皇帝の統治実践 中世の香り高き国チェコ 物資欠乏社会の悲惨－ソ連型社会主義経済システムの欠陥 バルト海から黒海まで－ポーランド語帝国とユダヤ人 ハブスブルグ大帝国の都：ウィーンの光と影 歴史社会としての中央ヨーロッパ
2011年後期	言語と文化	櫻井雅人(一橋大学名誉教授) 吉村祐子(外務省総合外交政策局政策企画室) 内藤 稔(東外大特任教師) 荒川洋平(東外大准教授) 小松達也(国際教養大学特任教授) 渡邊雅司(東外大名誉教授)	唱歌の原曲を求めて－「仰げば尊し」 外務省の仕事、言語の力 多言語・多文化社会におけるコミュニティ通訳のあり方 生活の中の認知言語学 言語と文化－通訳者の視点から 歴史と言語－ロシア語教師メーチニコフを中心として
2012年前期	ブラジル	鈴木 茂(東外大教授) 岸和田 仁(日本ブラジル中央協会理事) 黒澤直俊(東外大教授) 森 和重(日本ブラジル中央協会常務理事) 和田昌親(元日本経済新聞常務取締役) 武田千香(東外大准教授)	映画に描かれたリオデジャネイロ ブラジル文化論における1930年代－ハーン(小泉八雲)とブラジルの接点 ブラジルのポルトガル語は、ポルトガルのポルトガル語とどこが違うのか 双方の日系移民問題－ブラジルで評価される日系移民と日本で融合に悩む在日日系ブラジル人 ブラジルの世界－物語 ブラジルの文豪マシャード・ジ・アシスの文学にみるブラジルの「美学」